

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和7年度第1回高松市学校給食運営委員会
開 催 日 時	令和7年8月29日（金）10時00分～11時10分
開 催 場 所	朝日新町学校給食センター 2階会議室
議 題	(1) 委員長の選任について (2) 高松市の学校給食費について
公 開 の 区 分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	渡邊委員、安岡委員、北堀委員、宮脇委員、住吉委員、久保委員、藪内委員、大前委員
傍 聴 者	0人（定員10人）
担 当 課 及 び 連 絡 先	保健体育課朝日新町学校給食センター 087-811-6300

会議の経過及び結果
1 開会 2 挨拶 3 議題 (1) 委員長の選任について 高松市学校給食運営委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により、渡邊委員を委員長に決定した。 (2) 高松市の学校給食費について 事務局から、資料2の説明 意見交換 (委員) 2年前に改定して、そこから明らかに食材が高騰していると思うので、栄養価を維持するために値上げを検討するのは、社会全体が受け入れてくれる状況にあるのではないか。 (委員) 保護者負担額については国の動向を見てということであるが、市として抜本的に無償化をしていくというような議論はあるのか。 (事務局) 無償化については、県内でも一部無償化しているところがあるが、現在、本市では今年度において公費負担4億程度、第3子以降無償化を県補助で実施しているが、本市の財政状況から考えると、こ

れ以上の公費負担は本市独自では難しいと考えている。

(委員)

米自体が高くなっているのに、米飯が減ってきたかなという気もするが。

(事務局)

週3、4回程度で減ってはいない。

(委員)

現在の保護者負担額は、いつから変更されていないのか。

(事務局)

平成30年に改定してから変更していない。

(委員)

平成30年から保護者負担額は変わっていないということで、保護者はどのように捉えているのか。安い金額で献立が作れていると思っているのか、市の負担で維持できていると思ってきているのか、最近気になっているところである。

6月補正については、どういった根拠で2億円になったのか。

(委員)

9月の献立を作成する4月、5月の時点でこれまでの価格では栄養価を満たすには厳しいことが分かっており、9月の献立を作るに当たり、担当の栄養教諭に意見をいただきながら、1食当たりの金額からざっくり見積もった金額。実績はこれから出るところだが、限られた情報の中で急遽予算計上したことと、国の交付金にも近い2億円となった。

(委員)

国の交付金は目的が限定された2億円なのか、別のところに使われたのか。

(事務局)

交付金の目的は物価上昇への対応で、どこに使うかは自治体の判断で、本市では給食費に充てた。

(委員)

給食費が上がらないに越したことはないが、公費負担がされているということが保護者に伝わっていないのではないか。いろんな食に触れる機会が給食なので、献立が少なくなるよりは、費用が高くなるのは仕方がないと思う。公費負担をしてくれているからこそ維持できているということが保護者に伝わるといいなと思う。

(委員)

公費負担について、伝えようとしているのか。伝えることで行政への信頼にも繋がるのではないかな。給食の質を維持している姿勢が伝われば、住みたい街にもなるのでは。

(事務局)

今後、伝える努力もしていくべきと考えている。

(委員)

小学校では、低学年で給食試食会があり、保護者が試食している。今の給食は昔に比べると本当においしく、今の子ども達は恵まれているなと思った。保護者は公費が使われていることをほとんど知らない。無償化しているところと比較して、再度の負担増が反発につながる懸念があるので、行政の説明責任が必要。

野菜の値段も上がっているが、気温が上がっていて作りにくくなっているのが現状。裏を返せばそれだけ収穫できなくなっている。しっかりした供給体制が取れているのか、まとめて発注して足りないことがないか、足りない場合はどうするのか。

(事務局)

野菜については、中央卸売市場に給食部会を作ってもらっており、いつ、どういったものが採れるのか調整しながら発注、調達しているので、おおむね心配はないが、季節やものによっては予定していたものが確保できない場合もあり、献立を変えるとか別のものに変えるという工夫をしている。

(委員)

6月補正で献立を立てやすくなったが、中学生のカルシウムなどの微量栄養素は取りにくいのが現状。それとは別に、施設の古い調理場では調理能力に限界があり、栄養価を満たすために添加物を付けたり工夫はしているが、それで価格が上がるという状況がある。

(事務局)

市内の調理場は古いところが多く、調理方法によっては食材費が高くなる場合があることは重々認識している。施設については別の委員会を設けており、給食費のことも踏まえながら、施設の維持管理についても併せて検討を進めていく。